

# 思いを込めて合唱を創る！

10月29日(土)に迫った合唱コンクール「大地祭」に向けて、どのクラスも合唱練習に熱が入っています。今週から強調週間が始まり、学級での放課後練習ではどのクラスも指揮者やパートリーダーが中心となって各パートや学級全体をまとめながら、練習に取り組んでいます。その努力の成果が、校舎全体に響く歌声となって表れています。

大地祭スローガン

## 響 鳴

### ～大地と心をふるわせろ～

大地祭にふさわしい、素敵なスローガンですね！



前号でも書いたとおり、合唱を創り上げることは、それだけにとどまりません。様々な個性や持ち味、得意・不得意がある学級の仲間全員で一つのハーモニーを創り上げなければなりません。これは、まさに学級づくりそのものです。自分たちはどんな学級集団になりたいのか、どんな姿を目指すのか。安易に妥協せず、目指す姿に迫ろうと努力するその先に、学級のまとまりと素晴らしい合唱があるはずですよ。

当日まであと1週間となりました。やれることはまだまだたくさんあります。仲間と切磋琢磨し、納得のいく合唱を創り上げていきましょう。高みを目指して、互いの思いをぶつけ合いながら、合唱の完成度と学級の成長のそれぞれについて、全力で頑張ってください。

皆さんには無限の可能性があります。本気で高まろうと努力する大中学生の姿を期待しています。

\*\*\*\*\*



日を追うごとに完成度が高まる！

令和4年10月21日

第18号

## 歌には、人に勇気を与える力がある！

ドイツの詩人ツェーザル・フライシュレンの詩「心に太陽を持つて」を、昨年度に引き続き今年度も生徒の皆さんに紹介しました。合唱コンクールの時期がやってくると必ず思い出す、自分の大好きな詩です。

大地祭に向けて学級の合唱を高めようと頑張っている皆さんに、改めてこの詩を読んでもらいたいと思います。目標を高くもてば、それだけ困難が伴います。うまくいかなくて、くじけそうになることがあるかもしれませんが、本気で取り組めばこそぶつかる壁とも言えますね。

そんなときに、学級で選んだ合唱曲を口ずさみながらこの詩を読んでみてください。必ずや勇気と力が湧いてくるはずです。そして、仲間と一緒に最後の1行「勇気を失うな くちびるに歌を持って 心に太陽を持つて」を声に出せば、困難を乗り越えるための新たな一歩を踏み出せるはずです。そう信じると、また力が湧いてきます。

\*\*\*\*\*

心に太陽を持つて(ツェーザル・フライシュレン作)

心に太陽を持つて

嵐が吹こうと 吹雪が来ようと

天には黒くも 地には争いが絶えなからうと

いつも 心に太陽を持つて

くちびるに歌を持って 軽くほがらかに

自分のつとめ 自分のくらしに

よしや苦勞が絶えなからうと

いつも くちびるに歌を持って

苦しんでいる人 悩んでいる人には こう励ましてやろう

勇気を失うな くちびるに歌を持って 心に太陽を持つて

## \* レベルアップに向けて \*

合唱のレベルを上げるためには、一生懸命練習することに加えて、技術的な面でのポイントを押さえて練習することも大切です。

改善すべきポイントをちょっと意識して練習するだけで、間違いなく合唱の完成度がぐんと上がります。保証しますよ。

限られた時間を有効に使うためにも、右のポイントを参考にしてみてください。

### ① 出だしの音と発音を大切にしよう！

自信がないと、出だしの音が出せず聴衆に不安感が伝わります。ためらわずに最初の歌詞を歌い出せるようにしよう。

### ② 歌詞の一つ一つをはっきりと歌おう！

曲に込められた想いは、音以上に歌詞によって伝わります。口をしっかりと開けて、一つ一つのことはをはっきりと発音しよう。

### ③ 休符の直前までしっかりと伸ばそう！

休符や息継ぎの直前は、なかなか音を伸ばしきれません。ぶつ切れの歌にならないよう、直前の音符の長さを意識して歌おう。

実は、若い頃に1年間、音楽の授業を担当したことがあるのです。